

# リサイクル率向上へ期待

## ガイドライン完成近づく

### 再生石膏粉の有効利用ガイドライン策定委員会

し、石膏ボードのリサイクル業者の立場からや、研究者の観点からなどさまざまな方向から議論を行った。

これまで石膏ボードリサイクルについて土質改良材系ガイドラインは作成されておらず、それがリサイクルを進めるための壁の一つとも言われており、完成が待たれている。

今後は2月前半に作業部会を、後半に第4回の委員を行い、今年度末までにガイドラインの完成に向かう予定だ。

廃石膏ボードのリサイクル率向上を目的にガイドラインの作成を進めている「再生石膏粉の有効利用ガイドライン策定委員会」は11月9日、第3回の委員会を開催し、作業部会で行った修正事項を踏まえて作成を進めてい

るガイドライン（試行版）について読み合わせ、修正や意見交換、確認が行われた。

このまでに全国石膏ボードリサイクル協議会に参画している処理業者らがガイドラインを試験運用した使用性に関する意見、国環研

が協議会に再生石膏粉のサンプル提供を依頼して行った再生石膏粉に含まれる重金属類等の分析結果の報告、さらに（二社）に（二社）泥土リサイクル協

する固化材メーカーらの意見を集約し加筆・修正を加えている。

委員は（国研）国立環境研究所、大学、大手ゼネコン、コンサルティング会社、業界団体の担当者、有識者からなり、また環境省や国

交省、経産省、（二社）石膏ボード工業会などの担当者などがオブザーバーとして参加している。ガイドライン（施行版）に掲載している統計データや品質管理における検査の頻度、方法などについて確認



多くの有識者からなる委員が議論

会に所属